

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 子ども食堂について (15分)</p> <p>日本の子どもの貧困率は16.3%、6人に1人が貧困状態で、OECD(経済協力開発機構)加盟34カ国中ワースト10位という状況です。世帯の1人当たりの所得が国民の平均的所得の半分に満たない約122万円以下で生活をしている貧困状態にある世帯の割合が貧困率ですが、一人親世帯146万人のうち実に54.6%がそれに当たっています。</p> <p>子どもの貧困への対策は、住民に一番身近な基礎的自治体の取組が重要であり、私は、平成27年第2回定例会において一般質問し、特に、早期発見早期対応を図る取組について言及させていただきました。</p> <p>今回は、その具体的な取組である「こども食堂」について伺います。「こども食堂」は、貧困など様々な理由で、家庭でご飯を満足に食べられない状況にある子どもに食事とだんらんを提供しようというもので、子ども1人で立ち寄れる食堂です。対象者や運営方法、食事の値段は、様々ですが、支援の網からこぼれがちな子供を「食」から支えようという共通の思いで運営されています。</p> <p>(1) 埼玉県子育て応援行動計画には、経済的に厳しい環境にある家庭への支援を強化しますとしていますが、具体的には生活困窮世帯等の児童への学習支援が柱となっております。市の貧困対策の取組状況について。</p> <p>(2) 「プレーパーク」や「無料学習支援」といった活動との連携が有効に機能している子ども食堂があります。貧困対策への様々な取組の連携の状況について。</p> <p>(3) 県内では吉川市において福祉楽団 地域ケアよしかわが「こども食堂ころあい」を運営されています。もともと、介護サービス事業者がオフィスをオープンにして、結果的に子ども食堂となったとのことですが、高齢者の孤食への対応ともなっているようです。高齢者の孤食対策について市の取組は。</p> <p>(4) 子ども食堂の実施について。</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>
<p>2 多胎妊娠に伴う妊婦健康診査に要した費用の助成を (15分)</p> <p>多胎妊婦健診の助成拡充について、平成21年4月から妊婦健診助成が14回に拡大されました。しかし、双子など多胎妊婦の場合は、一般に比べて健診回数が多くなる傾向があり、異常があれば保険適用になりますが、そうでない場合は自己負担となっています。</p> <p>県内では新座市が平成23年度から多胎妊婦に限って一般の妊婦健診助成14回分に上乗せをしての助成をスタートさせたのを皮切りに多数の自治体を実施しております。</p>	<p>市長</p>

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>鶴ヶ島市としての多胎妊娠に伴う妊婦健康診査の上乗せ助成についての見解をお伺いいたします。</p> <p>(1)鶴ヶ島市での多胎妊娠の状況や費用負担の状況について。</p> <p>(2)多胎妊娠に伴う妊婦健康診査に要した費用の助成について。</p> <p>3 自殺対策基本法の改正について (15分)</p> <p>国内の自殺者数は2011年まで14年連続で3万人を超えていました。10年前に自殺対策基本法が施行され、その後、景気の回復基調からか中年男性の自殺が減り、警察庁によると15年は2万4025人(暫定値)で18年ぶりに2万5千人を下回っております。それでも毎日65人もが自殺で命をなくしている中、本年3月22日に基本法の一部改正が可決成立しました。</p> <p>私は、平成26年第2回定例会で自殺対策について質問しました。市内でも20名を超える自殺された方がいて、その半分程度が病気を理由にしたものだと推察される中、県の自殺総合対策大綱に基づき短期目標を明確し、地域特性や人口動態の分析により介入ターゲットを明確にし、いつ、どこで、誰が、何をするか、具体的に記述をして、庁内連絡会議の設置による行動計画等について提案させていただきました。</p> <p>この度の自殺対策基本法改正では、都道府県のみならず、市町村に自殺対策計画の策定を義務づけております。</p> <p>(1)坂戸保健所管内での自殺予防対策連絡会は、医師会、精神科病院の職員、警察、消防、そして行政を構成員として、関係機関が連携をして自殺予防についての普及啓発、初期的な介入、各市、町の自殺対策への協力などを行うとされる組織ですが、市としての連絡会を活用しての取組状況について。</p> <p>(2)誰も自殺に追い込まれない社会の実現を目指しての計画作りについて。</p>	<p>市長</p>
<p>4 鶴ヶ島郷土かるたがリニューアル (15分)</p> <p>「未来を拓く 鶴ヶ島郷土かるた」は、子供会育成会連絡協議会に委託され2年間かけて作成され平成17年3月に完成されました。</p> <p>10周年を迎えるにあたり、公民館とか鶴ヶ島高校などを呼んだ札のリニューアルが本年行われております。</p> <p>毎年郷土かるたを使ったかるた大会が開催されるなど、鶴ヶ島の子どもたちの郷土愛を育てることに寄与しています。</p> <p>(1)未来を拓く鶴ヶ島郷土かるたの意義について。</p> <p>(2)10周年のリニューアルに当たっての市の取組について。</p> <p>(3)鶴ヶ島郷土かるたを活かした取組の推進を。</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>